通訳翻訳論

翻訳の実務
1. 映像翻訳
2. 産業翻訳
3. 出版翻訳

映像翻訳

最も人気の高い翻訳業務
字幕翻訳
吹き替え翻訳

多様化する映像翻訳

メディア
- 劇場公開
- テレビ放送（地上波、BS・CS）
- DVD
- WEB配信
- 企業内

コンテンツ
- 映画
- ドラマ、ニュース、スポーツ、ドキュメンタリー、通販番組、
- 音楽番組、アニメ番組、海外取材映像
- プロモーションビデオ
- 企業PR
- 研修用DVD、製品マニュアル

映像翻訳の発注・受注の流れ

- 発注
  - 放送局、映画配給会社、映像制作会社、企業等
    ↓
- 請負
  - 日本語版制作会社、字幕制作会社、翻訳会社
    ↓
- 翻訳者

映像翻訳の報酬

- 10分あたりで計算
  - 60分のドラマー回分で5万円程度
  - 納期は一般的に一週間
- 映画の単価は高め
  - 映画一本で20万円程度
- 翻訳者の年収
  - 最初の1～2年：100～200万
  - キャリア10年（中堅）：年収500万程度

映像翻訳のスキル

- 語学力 （特にリスニング）
  - 映画以外では台本が提供されないことも
- 字幕・吹き替え翻訳の制作工程やルール
  - ハコ書き、スポッティングなどの作業手順
- 字幕・吹き替え翻訳の技術
  - 字数制限、リップシンク
- 豊かな日本語表現力
- 調査力

字幕翻訳のルール

- 1秒で4文字まで
  - 一つのセリフが4秒なら最大16字以内に翻訳
- 字幕に表す字数制限
  - 横書き字幕で1行13文字×2行まで
- 読点(、)と句点(。)を使わない
  - 「、」は半角空け 「。」は全角あけ
- 表記に配慮
  - 漢字と仮名の組み合わせ、ルビの振り方
- 凝縮した表現で情報を圧縮

字幕翻訳の手順

- ハコ書き
  - 字幕なしの映像と台本を使用
  - セリフの区切りに合わせて台本に／を入れる。
- スポッティング・リスト作成
  - セリフの区切りごとに番号を振る
  - それぞれの区切りごとにタイム・コードを記入
  - 所要時間数から字幕起こしの字数を計算
- 翻訳
  - 字数に合わせて翻訳。映画1本で7～10日ほど。

吹き替え翻訳のルール

- 話し言葉で訳す
  - 声優のアフレコがしやすい普通の会話調
- リップ・シンク
  - 画面に映っている俳優の口の動きにあわせる
  - 演技に合わせてセリフの速度を調整
- すべての音声を訳す
  - バックでしゃべっている人の声、テレビの声も訳す
- 映像や演技にあわせて
  - 手振り身振りにセリフの内容が一致するように

吹き替え翻訳の手順

- ブレス切り
  - 音声を聞き息継ぎがある箇所の台本に／を記入
- 翻訳
  - 息継ぎと息継ぎの間にセリフが納まるように訳す
  - 口が動いている間にセリフを言い終わるように
- 尺あわせ
  - 映像を見ながら翻訳を音読し字数調整する
- 口合わせ
  - 尺を合わせつつ口の動きに注意して翻訳の調整

映像翻訳のプロになるには

- 人材登録
  - 日本語版制作会社、字幕制作会社、翻訳エージェントなどにアプローチ、トライアルを受ける
- 翻訳スクール
  - 映像翻訳を教えているスクールでトライアルや仕事を紹介してもらう
- 新人が参入するチャンス
  - 門戸は非常に狭い
  - DVD特典映像、映画祭出品作品、WEB配信など

その他の映像・演劇関連の翻訳

- ニュース・ライター
  - ニカ国語放送で英語原稿を作成
  - 外国人視聴者に情報が的確に伝わるように
  - ニュース原稿の特殊性
  - アナウンサーが読みやすく、視聴者が聞きやすい
  - 速報性
- 演劇の脚本
  - 外国の舞台劇、ミュージカルなどの翻訳

2. 産業翻訳

もっとも需要が高い翻訳業務

産業翻訳

- 産業翻訳が扱う分野
- ドキュメントの種類
- 需要の多い分野
- 業界のしくみ
- 仕事の流れ
- 料金、報酬
- 必要とされるスキル
- プロへの道

産業翻訳　主な取り扱い分野

- 経済、金融
- 機械、電気・電子、医学、IT、特許
- 法律、契約
- 広告、ビジネス
- 半導体、通信、自動車、航空、エネルギー
- バイオテクノロジー、農業、食品、環境
- 石油化学、原子力、鉄鋼金属
- 繊維、ファッション、建築土木　　等など

産業翻訳 ドキュメントの種類

- 新聞・雑誌の記事
- E－mail、ニュースレター
- プレスリリース、パンフレット、カタログ
- 会社案内、販促宣伝資料、社内資料
- 事業計画書、調査報告書、各種レポート
- 業務マニュアル、取扱説明書
- コピーライティング、ナレーション原稿
- WEBコンテンツ

産業翻訳 ドキュメントの種類

- 監査報告、年次報告書、決算書、目論見書、市場調査報告書
- 機械操作マニュアル、研修資料、仕様書、ローカライズ関連素材、各種許認可書類、図面
- 特許明細書、意見書、補正所、特許関連の裁判資料
- 臨床試験計画書・報告書、新薬承認申請書、学術論文

産業翻訳 需要の多い分野

- ITローカライズ
- 金融
- 医学・薬学
- 特許
- 法律・契約
- 環境・バイオ

産業翻訳　業界のしくみ

- ソースクライアント
  - 発注元（官公庁、企業、特許事務所、団体など）
    ↓
- エージェント
  - 翻訳請負会社、人材派遣会社、制作会社、ローカライズ業者
    ↓
- 翻訳者
  - 在宅翻訳者（フリー）、社内翻訳者（社員）

産業翻訳　仕事の流れ　-1-

1. 営業・見積り（翻訳会社コーディネーター）
   納期、料金、クライアントのニーズ把握
2. 受注、データ準備
   グロッサリー（用語集）の有無、翻訳メモリ、参考資料など
3. スケジュール設定と翻訳スタッフの選定
   納期に合わせ翻訳者、チェッカーなどを手配
4. 翻訳作業
   依頼を受けた翻訳者（チーム）による翻訳

産業翻訳　仕事の流れ　-2-

5. 品質チェック
   誤訳、訳漏れ、表記統一、指定スタイル
6. DTP編集
   必要に応じてレイアウト作業、体裁を整える
7. 最終確認
   品質基準を満たしているか全体のチェック
8. 納品
   ソースクライアントに納品、アフターケア、翻訳者へのフィードバック

産業翻訳　料金、報酬

- 翻訳料金の差
  - 技術、レベル、経験などで決まる
- 料金計算の方法
  - 訳しあがり文字数　400字を単位とする
  - 原文文字数　1字または1ワード
- 訳しあがり料金の相場
  - 和訳　400字で1200～3000円
  - 英訳　200ワードで2500円程度
- 翻訳者の年収はピンからキリまで

産業翻訳　必要とされるスキル

- 外国語の能力
  - 専門的な文書が読める理解力
- 日本語の能力
  - 原文にふさわしいスタイルで書ける文章力
- 知識
  - 一般常識＋専門知識、専門用語
- パソコン・スキル
  - ワード、エクセル、パワーポイント、翻訳メモリ
- 調査力

産業翻訳　業務形態

- 社内翻訳者（オン・サイト）
  - 翻訳会社、IT関連ローカライザー
- 人材派遣
  - 派遣社員として英文事務、翻訳業務を行う
- 在宅翻訳者（フリーランス）
  - 翻訳会社のトライアルを受けてエージェント登録
  - ソースクライアントと直接取引
  - 個人の自宅または個人事務所に作業環境
  - 個人事業主として営業、売り上げ管理も行う

産業翻訳　プロへの道

- 業務形態を選ぶ
  - 在宅翻訳者（フリーランス）
  - 社内翻訳者
  - 人材派遣
- 企業などの求人情報を調査
- エージェントにアプローチ、派遣会社に登録
- 応募書類作成
- トライアル、面接→登録、採用
- 企業へ派遣、社内で翻訳、自宅で翻訳

出版翻訳

フィクション、ノンフィクション、雑誌、児童書等

出版翻訳の主流

- フィクション
  - 文芸、ミステリー、SF、ロマンスなどの小説
- 児童書
  - 絵本、童話、少年少女向け小説
- ノンフィクション
  - 経済、ビジネス、啓蒙書、観光・紀行、歴史、実用書
- 雑誌
  - ファッション、専門誌、経済誌、ニュース雑誌など

出版翻訳　翻訳書ができるまで

1. 原書選定
2. リーディング依頼
3. 企画会議
4. 著作権取得
5. 翻訳依頼
6. 翻訳
7. 編集・校正
8. 印刷・製本・刊行

出版翻訳　業界用語（一部）

- 著作権
  - 原作者の権利を保護、翻訳出版された場合は利益の一部を原作者に支払う
- 著作権エージェント
  - 著作権の営業と管理を行う専門業者
- リーディング・レジュメ
  - 原書を下読み（リーディング）して書くレポート
- ブックフェア
  - 書籍の見本市、出版編集者が出向いて本を発掘

出版翻訳　料金と報酬

- 買取方式
  - 固定の金額で翻訳を買い取る方式
- 印税方式
  - 書籍の本体価格×印刷部数×印税率（%）
  - 例）1,000円×10,000部×5%＝500,000
    本がベストセラーになれば収入は増える
- 翻訳者の年収
  - ピンからキリまで
  - デビュー当時は100万円程度のことも……

出版翻訳　必要なスキル

- 日本語の表現力
  - 良質な日本語、さまざまな文体に対応できる力
    豊かな語彙
- 原書の読解力
  - ネイティブの読者と同じ感覚で読みこなせる
  - 著者と同等の知識を有する
- 文章構成力
  - 読者対象に合わせた翻訳
- 調査能力、WEB検索テクニック

出版翻訳　プロへの道

- 翻訳スクール
  - 翻訳家に師事、OJTの紹介
- プロの主催する勉強会に参加
  - 情報交換をしながら切磋琢磨
- 翻訳コンテスト、オーディション
  - リーディング、下訳を受注するきっかけ
- 出版社へ持ち込む
  - 売れる企画のレジュメを持ち込んで営業

出版翻訳　出版社への売り込み

- 自ら翻訳出版したい本を出版社に持ち込む
  - レジュメ

タイトル
著者名
出版社名
刊行年月
目次
本の概略
著者紹介

あらすじ
登場人物
抄訳
　　スタイルや雰囲気
読後感
書評